



seed of news

ニュース解体

巷を賑わす話題から、うっかり見過ごしてしまいそうな小さなネタまでランダムにピックアップ! ビジネスのヒントに、飲み会のネタに、活用方法はあなた次第?

ペットブームはどこまで盛り上がる!?

●●● 公園通りで考える、当世ペット事情 ●●●

借金してまで買(飼)いたいもの

チワワを登場させて一躍有名になった某ローン会社のCM。そのCMには「ペットは生き物です。責任を持って飼いましょう」というテロップが流れている。借金までして愛くるしいワンちゃんを衝動買いしてしまう、なんてちょっとしたコメディ。けれどそんな笑話話が現実にも起きていても不思議はない、当世のペットブーム。ブームの裏側では、飼いきれずに野良化した家庭動物の数も年々増加している。現在では40万頭以上の動物が処分されているというから、ブームを牽引したCMが責任を持ってテロップを流さざるをえない事態になったのかもしれない。

“公園デビュー”しましたか?

新米お母さんが初めて子供を公園へ連れて出かける、そのメモリアルな出来事を俗に“公園デビュー”と呼ぶ。だが最近では、子供だけではなく飼い主が初めて愛犬を公園に散歩へ行くときにも使われる。そのことを、とあるペットショップの看板で知った。すぐそばにはお散歩のメッカとしても知られる、駒沢公園。連日、服を着たワンちゃんが通りをねり歩く。

『動物のお医者さん』で人気を獲得したシベリアンハスキーをはじめとする大型犬はすっかりなりをひそめ、最近ではチワワ、ヨークシャテリアなどの小型犬が圧倒的に多い。ちなみに前述のペットショップでは、スマートな公園デビューのために、ペットシッターなるサービスが宣伝されていた。

これからの時代、イヌでも礼儀作法を覚えなければ公園に連れていってもらえない?

ペット商売、百花繚乱

駒沢公園通りには、当然のごとくペットグッズを売るショップが立ち並び、むろんカフェもペットOK。ペット専用メニューを用意する飲食店が増えてきた。うっかり人間もオーダーしてしまいそうな「鶏ササミのマリネ」や「ナチュラルパスタ」が50円前後。外食産業のデフレ傾向も、愛犬には関係なし。飼い主も愛犬も満足のゆく食事ができるカフェが、この通りの最低条件になりつつある。

ペットグッズやペットフードが王道のペット商売だとすれば、一風変わったペット商売も続々と登場している。ペットが飼いたくても飼えない人のためには、レンタル・ペットショップなる便利なサービスがある。はたまた愛犬の疲れをほぐしてあげるためのドッグ・マッサージの教室まで登場。具合が悪くなったペットを病院まで運ぶ救急ペット・タクシー、ペット専用の仏壇... ペットにまつわる商売はいまのところ尽きそうにない。当の動物たちがこのブームをどうみているのか、一度聞いてみたいものである。

人生は心のドラマだよ
心が作者で心が主役
きれいな心でドラマを作り、
きれいな心で演技をすれば
幸福なドラマになるだろう

ブッダの五行歌

お釈迦さまの息吹を伝える『法句経(ダンマパダ)』を、仏教を知らない人々の心にも届けたいという思いで、親しみやすい五行歌に意識しました。ぜひ自分のリズムで歌ってみてください。

人生は心のドラマだよ
心が作者で心が主役
汚れた心でドラマ作り
汚れた心で演技をすれば
不幸なドラマになるだろう

■ 凡 喜作(ワンギーサ比丘) go tam @m05 .itscom .net
http://www.j-theravada.net/sakhi/buddha-enka-1.html

site cruise

好奇心をくすぐるサイトを厳選!



「話芸 “きまり文句” 辞典」

by 松井高志

■ <http://www.wageidiom.cocolog-nifty.com>

落語や講談を聞いていると、それらの中に時々格言や故事成語、川柳や都々逸、狂歌、教訓和歌、俗謡、俗信、ものたえなどの引用がほどこされているのに気づきます。それを聞いた瞬間は、「なんてためになるんだろう」と感心し、「何かに使えそうだから覚えておかなきゃ」と下心を抱くわけですが、私たちは寄席や講釈場に、娯楽のために行くのであって、「教訓」を学びに行くわけではないので、役に立ちそうな言葉が出てきても右から左へ聞き流し状態になることがほとんどであると思われず。

これはちょっともったいないことで、せっかく「昔ながらの言い回し」の宝の山のだから、そういった話芸にあらわれる「慣用表現」(きまり文句)をたくさん収集して、ブログで辞書を作ってみようと考えました。

話芸の速記本や録音、録音などから文句を集めてきて、五十音順に並べ、その意味をコンパクトに解説していきます。およそ200の落語、長短100ほどの講談から選出しました。タイトルがまぎらわしいのですが、これはよく歌舞伎などで企画されるような「名セリフ」「決めセリフ」を収集したものではありません。もちろん中には芝居のセリフで使われるものもありますが、もっぱら実際に世間で使える言い回しを集めたものです。

集めた「きまり文句」を、「酒」「男女」「夫婦」「親子」「人生」「世渡り」「戦い」といった項目に分類して見せるというのも、ひとつの常識的なまどめ方であり、それはそれとつきやすくもあり、また読みやすいのでしょうか、いざ言葉を調べようとするときの便宜を考えると、ひとまず五十音順に並べておき、別途検索窓をつけておくのが一番いいのでは、と結論しました。

具体的な「きまり文句」ですが、たとえば、

「色男金と力はなかりけり」、
「渡る世間に鬼はなし」、
「情けは人のためならず」

といったいかにも「ことわざ」なもので、

「足袋をはいて寝ると親の死に目にあえない」、
「悪に強いは善にも強い」(これは歌舞伎にも出てきます)、
「女の黒髪は大象をも繋ぐ」

というような少々ややこしいものまで、「知っているためになる」、「ストレートに教訓として読む」というよりも、実際に寄席に行って斬を聞いた時に、突然こうした慣用表現にぶつかってもまごまごしないように、また寄席でわからない(引かかる)言葉にぶつかった後で、意味を調べるために利用していただけたら、と考えています。

ある言い回しの意味が分からない、どうしてもそれが気になるといだけだったら、市販の「ことわざ辞典」を買ってきて調べれば済んでしまうので、ここでは、まず居ながらにして基本的に無料で調べることができる点が「売り」です。

斬の文脈でその言葉がどう使われているかに、よその「ことわざ辞典」よりも重きを置きながら、一方であまり故事成語の由来などにうんちくを垂れすぎて、手取り早く意味を知りたい方々にうんざりされないよう配慮しなければならぬとも考えています。ブログ形式ですので、辞典の記述に誤りやご注文があれば、すぐに筆者へのコメントを送っていただくこともできます。今後も資料を読みこみ、聴きこんで、もっともっと内容を充実させていきたいと考えています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。